

和歌山市立城東中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>和歌山の魅力発見～「和歌山探訪」</p> <p>「総合的な学習の時間」の活動の一環として、毎年第1学年で取り組んでいる。4人～5人の班で、和歌山の名所・旧跡・文化施設をバスや電車といった公共交通機関を使って2か所以上めぐり、後日、見学・体験したことをまとめて発表した。「和歌山ってどんなところだろう？」日頃あまり意識していない和歌山の特徴や良さなど、事前学習で学んだことを自分の目で確かめることは、新たな発見や地域の方々との出会いにつながった。</p>	
-------------------------------	---	---

和歌山市立伏虎義務教育学校（後期課程）

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「わかやまふるさと検定」を意識した取組ではあるが、地元わかやまへの愛着を深めることをねらいとした。</p> <p>自作のワークシート（歴史・自然などジャンル別にしたもの）をもとに「わかやま何でも帳」、「わかやま発見」で調べ上げる。学習の最後には、子供たちがそれぞれで好きなジャンルから1つ4択クイズを作成し、みんなで考える時間を設けて、楽しみながら取り組んだ。あらゆる「わかやまのヒト・コト・モノ」を知ることができ、改めて地域の良さに気づき、より一層愛着をもつことができた。</p>	
<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校の総合的な学習の時間「わかやま創造科」で、給食の献立となった“ジビエ”をきっかけに、子供たちが様々な疑問をもち、様々な方法で学習する。鳥獣被害、県民としての動植物との共存など和歌山の自然環境と向き合ってきた。これまでに調べてきたことを子供たちなりにまとめ、修学旅行の際に農林水産省・和歌山県東京事務所等でジビエPRを行った。</p>	

高野町立富貴中学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校では富貴小学校から富貴中学校までの9年間、郷土の産業、自然、文化などの特色や伝統について学ぶ「ふるさとふれあい学習」を行っている。（「ちまきづくり」「富貴音頭」「人権平和学習」「福祉センター訪問」「ふれあい年賀状作成」など）</p> <p>今年度、生徒は義務教育最終学年であることから、卒業後の自分の生き方と関連づけて郷土富貴や住民についてまとめ、PRビデオを作成した。（このPRビデオは、今年度の「ふるさとわかやま学習大賞」で大賞を受賞した。）</p>	
-------------------------------	--	---

かつらぎ町立笠田中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校教育の柱となる「町石道T I M E」の第1学年では、地域教材で世界遺産の「町石道」「三谷坂」や「丹生都比売神社」を取り上げ、地域の『過去を知る』ことから始めている。町教育委員会や高野山大学教授に講演していただき、実際に「三谷坂」から「丹生都比売神社」まで歩き、現地では宮司さんにお話を伺ったり、それらの学習内容をまとめて発表したりすることができた。</p>	
<p>2年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「町石道T I M E」において、2年生では地元企業や農園を訪問し、地域の『今を知る』ことを目的に取り組んでいる。また「職場体験学習」では、体験だけではなく、働いている人の思いや考えに焦点を当てた聞き取り調査を行った。学習の最後には、企業訪問や職場体験を通して学んだことをまとめ、学年での授業参観で発表できた。また、3年生の発表と併せ、1年生にも学習した内容を発表することで、1年生にも提案・発表の見本となるとともに、2年生自身も発表力が向上した。</p>	
<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「町石道T I M E」のまとめの学年として、地域や自分自身の『将来を考える』学習をしている。近隣の大学にグループごとに訪問する「キャンパス訪問」や卒業生による体験談を交流できる場を設定した。また、社会科等と教科を横断した取組として「住みたいかつらぎ町」の提言をまとめ、1・2年生に発表する機会を設定した。経験豊富な3年生の発表を見ることで、1・2年生に今後の学習の見通しをもたせた。</p>	

紀の川市立那賀中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>ふるさとに関する学習を「ふるさと百選」と称して、毎年1年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる。この学習を通して、地元の先人華岡青洲の偉業について学び、地元への愛着をもつことができた。また、グループで「ふるさとの良いところ」を調べ、現地取材などを通し、「調べ学習の手法」を学んだ。</p>	
-------------------------------	---	---

岩出市立岩出中学校

<p>1年生 社会科</p>	<p>地元教材である「空海と高野山」について取り上げ、身近な場所で平安時代に新しい仏教が開かれていたことを知り、地元の和歌山に興味関心をもたせることをねらいとした。</p> <p>また、覚鑿上人が高野山へ入山し、その後根来寺を創建し、新義真言宗を始祖したことを学び、総合的な学習の時間で根来の歴史を学ぶことにつなげていけるように取り組んだ。</p>	
<p>2年生 社会科</p>	<p>江戸時代の交通路の発展について学習する際、「紀州廻船」を取り上げ、親近感をもたせることをねらいとした。運送の中心となる「菱垣廻船」へ発展したものが、地元和歌山に関係しており、それに関連付けて、紀州の特産物について学ぶことで、商品作物として都市へ運ばれ、売買されていた歴史を知ることができた。</p>	
<p>3年生 社会科</p>	<p>国際連合の仕組みと役割について学習する際、ユネスコの役割についての内容のところで、世界遺産の例として高野山を取り扱い、興味をもたせたり、歴史のふりかえりをしたりすることができた。</p>	

広川町立津木中学校

<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>ゲンジボタルの調査・保護活動</p> <p>昭和の後期、絶滅が危惧されたゲンジボタルの復活を目的に、調査・保護活動を続けている。保護看板の設置、飛翔数の定点調査、親ホタルを捕獲し産卵・孵化、校区小学校と協働で幼虫放流会、こどもホタルランチャー活動報告等、本校（地域）恒例の取組となっている。アドバイザーとして県立自然博物館の学芸員を、県のエキスパート職員派遣事業により招いている。これは、保護者の時代から続く取組で、地域の自然環境に着目する素晴らしい取組だと自負している。</p>	 
<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>水環境保全プロジェクト</p> <p>地域の水環境に着目し、学年毎にテーマを設定。調べ学習を実施している。</p> <p>1年生：町浄水場見学 2年生：広川ダム見学 3年生：町浄化センター見学</p> <p>その後、上の「ゲンジボタルの調査・保護活動」の内容を含め、調べた内容を3学期の授業参観（環境学習発表会）で発表する。この発表会は、校区全戸に案内を配布している。本年度は、保護者を含め、約40名の来校者があった。総合的な学習の時間としてのねらいは、情報の収集・整理・発信であるが、水は全ての環境に関わる要因であることから、本校の地域学習として位置づけている。</p>	

印南町立清流中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>1年生12名が地域の産業である「林業」について、県のホームページ、書物、聞き取り調査（紀中森林組合印南事業所）などで調べ学習を行った。学校付近の山野も調査し、植林と雑木林の分布を地図に表した。また、きのくに緑育推進事業の取組として、間伐材を利用したベンチ作りも体験した。</p> <p>これらの取組で学習したことをまとめ、1月末に保護者や調べ学習でお世話になった方々を招待して開催した「共育ミニ集会」で、パワーポイントを使って発表した。調べてまとめた内容と、体感したことを通して、林業の大切さや自然環境の保全、その他森林から受ける様々な恩恵等について学んだ。</p>	
<p>2年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>2年生11名が地域の産業である「農業」について、インターネットや書物などで調べ学習を行った。地域の特産物である「わさび」「千両」「みかん」「花卉類」について、班ごとにテーマを絞り、生産者に聞き取り調査を実施した。特に印南町4Hクラブの方々には、地域の花卉類を利用したフラワーアレンジメントを指導していただいた。</p> <p>これらの取組で学習したことをまとめ、1月末に保護者や調べ学習でお世話になった方々を招待して開催した「共育ミニ集会」で、パワーポイントを使って発表した。調べてまとめた内容と体感したことを通して、農業の大切さや後継者不足等の課題、そして、農業を通して地域を大切にしたい等について学んだ。</p>	
<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>3年生7名が和歌山県の観光産業及び観光資源について、県のホームページや書物などで調べ学習を行った。7名を2つの班（紀北班と紀南班）に分け、県の観光振興課や西牟婁振興局に行き、担当者から現状や課題、これからの展望について話を伺った。これらの情報をもとに、生徒たちが考えた観光ポイントと観光ルートの提案した。</p> <p>これらの取組で学習したことをまとめ、1月末に保護者や調べ学習でお世話になった方々を招待して開催した「共育ミニ集会」で、パワーポイントを使って発表した。調べてまとめた内容と体感したことを通して、これからの和歌山について考える機会となり、地域の良さ・すばらしさを再認識することができた。</p>	

印南町立稲原中学校

<p>全校 総合的な学 習の時間</p>	<p>地域の方が所有する田んぼをお借りし、もち米・野菜づくりに取り組んでいる。JA、地域の方、保護者の協力のもと、田の整地、種まき・糶まき、田植え、稲刈り、稲はち（脱穀）等、一連の作業を体験している。また収穫したもち米を使って三世代交流の餅つき大会を実施、地域の方と交流を深める場となった。こうした農業体験学習は地域の一員である帰属意識、自己肯定感を育てるよい機会となっている。</p>	
------------------------------	---	---

印南町立印南中学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校では3年生の総合的な学習の時間で防災学習に取り組んでいる。ここ数年は、県立博物館の協力を得て校区に残された災害記録の現代語訳に取り組んできた。その作業が一段落した今年度は、さらに普及させるために記録の映像化に取り組むことにした。その第一弾として、12歳の少年楠次郎が記した『ふうしぎどめ也』を、できるだけ記録に忠実に映像化した。記録はさらにわかりやすく意識し、楠次郎の子孫にあたる生徒の朗読に映像をのせた。映像は、記録に出てくる場所などを生徒たちが実際に撮影し、編集も行った。</p> <p>この活動を通して、災害記録をより身近なものとしてとらえることができ、防災意識を高めることができた。また、小中学生の防災教材としても活用していきたい。</p>	 
-------------------------------	---	---

 をダブルクリックすると動画を再生できます。



田辺市立東陽中学校

<p>1年生 社会科</p>	<p>社会科の授業の中で、南米の移民について学習したのち、地域の方を招いて、和歌山県民がブラジルに多く移住した歴史と功績を学んだ。特に、和歌山県の移民者が農地の開拓を行い、様々な困難を克服し、現在のブラジルの第一次産業の発展に大きく寄与したことを学んだ。</p>	
--------------------	---	--

田辺市立衣笠中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の主幹産業である梅について学習した。地域の梅農家や地域のJAの方の協力を得て、梅収穫体験、選果、梅天日干し体験、選果場見学等を行った。また、梅干しや梅ジュースも作り、今年度は梅を使った梅料理にも力を入れた。地域の方にご指導いただき、梅料理の献立を考え、クラス別に実施した。この経験を文化発表会で、梅の世界農業遺産、梅の歴史、梅料理の工夫について3クラスの発表をつないでまとめ、発表した。地場産業について考える良い機会となり、地域の方とのふれあいも双方ともに良い経験となった。また、梅について興味も湧き、今後の生活にも生かせることになった。</p>	
-------------------------------	--	---

田辺市立中芳養中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の基幹産業である梅栽培を学習材料とし、事前学習としてJA紀南中芳養支所と連携して学習を深め、「梅・勤労体験学習」を実施した。体験学習は、地元農家をお願いして1日体験とし、農家の人とともに「梅拾い」、「選果」等の農作業を体験した。その後、栽培、収穫、加工、販売まで行う6次産業の現状を理解するために、JA紀南の梅加工場の見学を実施。収穫から製品化への行程と梅の種や汚水もリサイクルされている最新の施設を見学できた。</p>	
-------------------------------	---	---

田辺市立近野中学校

<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>熊野古道語り部ジュニア活動で身につけた英語を生かし、オーストラリアの中学生に熊野古道を案内することができた。また、アメリカンファミリーとの交流では、片言の英語を駆使してコミュニケーションを図り、日本の書道や折り紙などの文化を紹介しながら交流を深めるとともに、英語を学ぼうとする意欲や外国人とも積極的に関わろうとする態度などの点で、貴重な体験をすることができた。</p>	
------------------------------	---	---

白浜町立三舞中学校

<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>「日置川観光学習学」というふるさと学習に取り組んでいる。3カ年で学習を進め、1年目は「ふるさと発見」、2年目は「ふるさと探究」、3年目は「ふるさと貢献」をテーマに全校で取り組んできた。観光を切り口に、ヒト、モノ、コトを意味でつなげたり関連づけたりして学びを深めていく。生徒は地域のつながりや関わりに気づき、未来に向けて新たな価値や発想・行動を生み出すことを学んでいる。</p>	
------------------------------	---	---

新宮市立光洋中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>郷土学習として地域探訪を行った。10名程度のグループに分かれ、新宮市内の5カ所（佐藤春夫記念館、浮島の森、新宮城跡、歴史民俗資料館、徐福公園）を観光ガイドの方々に案内していただいた。事後学習として、まとめをした。新宮には日本中に誇れるところがいくつもあることを丁寧な案内を通して実感することができた。</p>	
<p>3年生 総合的な学 習の時間</p>	<p>地域の郷土芸能である「綾踊り」を体験することで、伝統芸能の継承する心情を育むことをねらいとした。三輪崎郷土芸能保存会の方に実演してもらい、その後、実技指導を行っていただいた。ここ三輪崎もかつては捕鯨が盛んであったこと、この綾踊りはそれに由来し、型には一つ一つ意味があることなどを丁寧に教わった。年に一度、祭りで見ただけの「綾踊り」に歴史があることや、それを受け継ぐ地域の人の思いを知ることができた。</p>	

新宮市立高田中学校

<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>今年度の総合的な学習の時間のメインテーマを「高田の魅力伝えよう」とし、生徒が自ら課題を設定し、調査、まとめを行い、12月の学習発表会でパワーポイントを使って発表を行った。「高田の自然」「高田の行事(亥の子祭り)」「高田の人々」というテーマに沿って、地域の人にインタビューをしたり、現地で写真を撮ったりしながらまとめることができた。この活動で自分たちが生活している高田地区についての特徴を再認識し、ふるさとの魅力について考えていくことができた。</p>	
<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域産業である「米作り」について、小学校とも連携しながら取り組んだ。育友会長を講師として招き、種まきから田植え、稲刈り、脱穀などの作業を行った。お世話になった地域の方々を招いて収穫祭を開催し、収穫できた新米と一緒に味わうことができた。作業を通じて、米作りの大変さを経験するとともに、地域の方々の協力を認識できる機会となった。</p>	

新宮市立熊野川中学校

<p>全校 特別活動</p>	<p>小中合同運動会で「熊野川小唄」の踊りを発表している。練習は小中合同で行い、講師として地域の方に踊りを教えていただき、運動会では生徒とともに保護者や地域の方々も一緒に踊る。地域の方に教えていただくことや運動会当日と一緒に踊ることで地域とつながりがもてるとともに、地域の伝統芸能に触れることにより地域への愛情がより深まっている。</p>	
<p>1年生 総合的な学 習の時間</p>	<p>総合的な学習の時間の中の地域学習として、1年生が熊野市の紀和鉾山資料館や赤木城、丸山千枚田等を訪れ、学習した。熊野市から登校している生徒もいて、また古くから熊野川とは繋がりも深い地域を学習することにより、より熊野川のことを深く知ることができ、また、学習発表会で発表したことにより発表する力も養った。</p>	

那智勝浦町立宇久井中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域内にある宇久井ビジターセンターを訪問し、ボランティアガイドさんから宇久井半島の成り立ちや特色、昔の様子を紹介していただいた。その後、宇久井半島を班別で案内・説明してもらい、観察をしたり、写真を撮ったりしながら学習した。それらを題材にして、学校での学習を重ねて、文化祭での展示発表と、舞台上でプレゼンテーションの発表を行った。</p>	
<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>2年生は地域産業として、漁師さんを学校に招いて、当地の主要産業である漁業について（漁法や当地でよく獲れる魚の種類等）、漁業という仕事についての講義をしていただいた。また、2月には、宇久井漁協の大敷の船に乗せていただき、実際に魚を獲っている場面を体験し、仕事の内容、どうい魚が獲れているか、映像ではできない体験をして、地域の水産業について学習をしている。</p>	
<p>3年生 技術家庭科</p>	<p>漁協組合員の人たちと婦人部の人たちを講師として招き、地域の名産品であるブリの料理法を指導してもらった。来ていただいた方々と一緒にいただき、片付けも行った。</p>	

那智勝浦町立那智中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>次世代育成事業を通して、和歌山県の歴史・文化、また海外から見た和歌山など広い視点から自分たちの郷土について考えることができた。現地（熊野古道：三軒茶屋跡から熊野本宮大社までの散策等）での体験や体感により、熊野古道の歴史や魅力を感じ、改めて熊野の歴史や時代背景、価値を理解し、先人達が守ってきた熊野古道を後世に伝えていく気持ちが芽生えるきっかけとなった。</p>	
-------------------------------	---	---

那智勝浦町立色川中学校

<p>1年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域教材として世界遺産の熊野古道や郷土料理、祭と行事を取り上げ、熊野を訪れた人たちにその魅力を伝えることをねらいとした。 世界遺産学習については和歌山県世界遺産センターにて講座を受講し、伏拝王子から本宮大社まで熊野古道を歩いた。現地学習を行うことによって世界遺産をより身近に感じ、その素晴らしさを確認することができた。また学習して分かったことや体験したことをプレゼンテーションとしてまとめ、学習発表会で発表することにより、保護者や地域の方々と様々な知識や思いを共有することができた。</p>	
-------------------------------	--	---

古座川町立明神中学校

全校 技術家庭科	<p>地域食材である「ジビエ」を取り上げ、ジビエについての知識を深め、食に関する感謝の気持ちを養うことをねらいとした。役場職員から古座川町におけるジビエの取組を聞き、食肉処理加工施設を見学した。古座川町のジビエが各方面に出荷されていること、肉だけでなく骨や皮なども利活用されていることなどを学習した。また、学校給食にジビエが提供されるまでの工程を知ることができた。</p> <p>この学習を通して、自分たちの住む古座川町についての新たな発見が多く、改めて地元の良さを実感することができた。そして自分たちの住む町に誇りを持ち、より一層の愛着をもつことができた。また、工房見学を通して命の大切さを実感し、食における感謝の気持ちを再認識することができた。</p>	
-------------	--	---

串本町立串本西中学校

1年生 総合的な 学習の時間	<p>地域の産業を知ることが目的として、漁業について調べ学習を行った。県水産試験場、漁業組合、漁師さんから直接話を聞くことで、地域とのつながりを深めることができた。地域との連携が強い産業を調べることで、自分の将来の職業はもちろん、地域への愛着についても深める機会となった。また、全校生徒が地域に出向き、熊野古道（大辺路街道）散策や「地域の歴史」について、地域の方々と一緒に学ぶことができた。</p>	
----------------------	---	--

北山村立北山中学校

1年生 総合的な 学習の時間	<p>地域に伝統的に伝わる「筏流し」について調べ学習をし、地域のことをよく知るための機会とした。観光センターやそのOBの方を地域資源とし、「筏師」が歩いた道を案内してもらった。地域のことを深く知り、愛着がさらに深まった。</p>	
----------------------	--	---